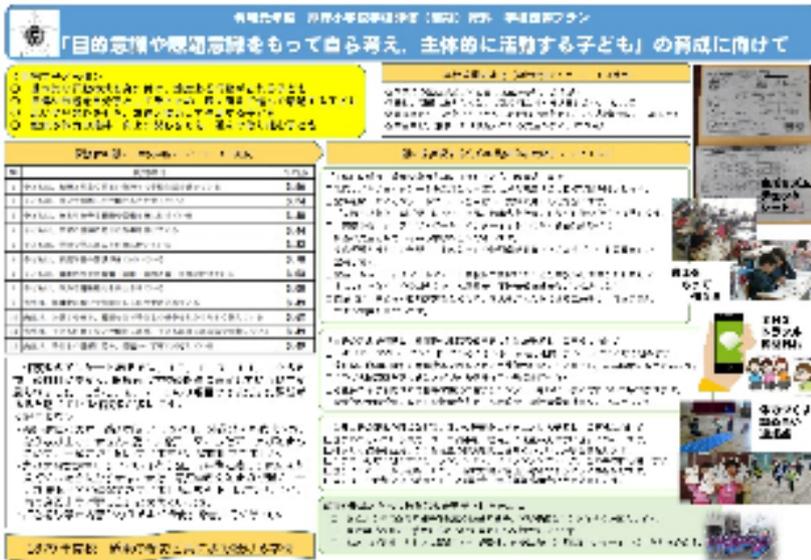


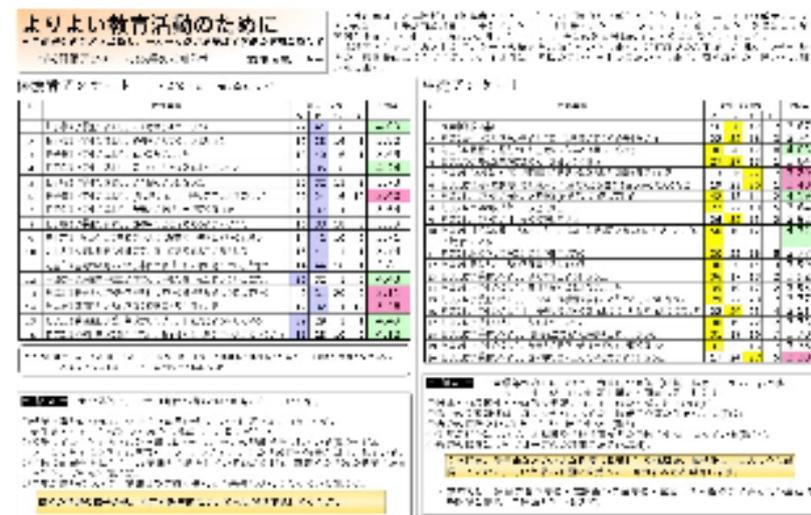
## 第2回湖南地区学校運営協議会開

8月28日（水）、今年度2回目の湖南地区学校運営協議会が厚岸小学校で開催されました。今回は学校が稼業中の15時からの開始となりましたが、多くの運営委員の皆様にご参加いただき、活発な協議がなされました。

今回の協議会では小学校・中学校いずれもが1学期末に行った学校評価を受けての分析を説明し、それを基にして協議が進められました。



小学校では、学校の指導に対する評価が高かった点、子どもの体力面や生活習慣・家庭学習などに課題を感じている保護者の方が多かった点等について説明するとともに、児童のアンケートから見える成果や課題について説明しました。そして、それらを受けての学校の取組についてチェックリストを提示して紹介しました。



中学校も保護者と生徒、両方のアンケート結果を示し、保護者の方からは一定の評価が得られている事、生徒アンケートでは学年が進むにつれ肯定的な回答をする子が多くなっている事などを説明しました。その後、各家庭において学習の様子や理解度を把握していただくよう依頼した事や、生徒に向けて短期的・長期的なスパンでの目標をもってほしいという願いを紹介しました。

その後の質疑においては大きく2つの点について協議しました。

## ① SNSでのトラブルについて

- ・小学校では大きなトラブルはないが、子どもが自ら撮った動画をSNSに上げるなどの事例があった。
- ・中学校でも大きなトラブルはないが、LINEにおける既読スルーが問題になっている。
- ・高等学校でも生徒が指導されている。交際範囲が広いので日常的な指導が不可欠である。
- ・町での「子ども未来ミーティング」や、各校での携帯教室の開催・全校集会での呼びかけなどの取組は行っているが、学校だけではなく、家庭と学校の連携が必要である。また、町で策定している「私たちの宣言」を踏まえて湖南地区の実態に応じた対応が必要となるので、その際には湖南地区学校運営協議会の協力をいただく。
- ・道教委で行っているネットパトロールでLINEやTwitter、Facebook等における不適切な書き込みはチェックできるが、ゲーム内で行われるチャットなどはチェックしきれない状況である。

## ② 体力面の課題について

- ・運動面での課題が学校評価から出ていたが、町全体として児童生徒の登下校において車での送迎が増えるなどして子どもの歩く距離が少なくなっていることが課題となっている。
- ・以前は小学校の少年団も複数あり、中学校でも全員が部活に入っていたなど、多くの児童生徒が運動に取り組む機会が保証されていたが、現在町内の少年団活動自体が停滞している。
- ・(上記の話を受けて) 小学校教員の少年団活動への関りが以前より薄くなっているのでは？  
回答⇒参加児童数の減少により湖南地区における少年団が現状では無くなっている。また、町教委が示す「学校における働き方改革 厚岸町アクション・プラン」においても教員の勤務の改善が掲げられていることから、教職員の働き方自体を見直している。
- ・高等学校においても外部講師を招聘し、部活動の指導を行っている高等学校が増えてきているが、そのような方策を取れるのは都市部の高等学校であり、他の地域では人材確保が難しくなっている。翔洋高等学校に関して言えば乗船実習でロープを引く力が弱かったり、船上で体を上手く使えなかったりするなど、中学校までの運動不足の影響が出ているとみられる。
- ・指導体制の低迷は学校だけの問題ではなく、地域の指導者の意識の変革などの要因もあるのではないかと。以前は当たり前のように保護者や地域住民が指導に当たっていたが、今ではそうした人の数も減ってきている。そして、1番の問題は少子化であり、少年団や部活動に所属する児童生徒自体が減ってきていることである。

以上のようなご意見をいただきました。他にも、市街地の鹿の増加による児童生徒の登下校や教育活動への影響についても気に掛けていただきました。教育委員会や運営委員としてご参加いただいた警察署の方とも情報を共有させていただきました。

### ◎ 保小中合同避難訓練 ◎

小中で例年行われている表題の避難訓練が今年度は保育所の年長さん、梅香自治会の方のご参加も得て、無事に執り行われました。今後も継続して取り組んでいきます。

### 今後の予定

第3回湖南地区学校運営協議会

令和2年1月29日18:30

厚岸小学校3F 研修室